

東松島BLUE LANDプロジェクト

一般社団法人東松島みらいとし機構(HOPE)

事業概要

里海のコセプトを軸に、地域循環共生圏と水産業を結びつけた持続可能な共生モデルの構築を目指します。

海底土壌の改善や藻場再生、ブルーカーボン活用、海洋教育を通じて、生物多様性と地域経済の両立を図ります。



今年度取り組み内容

- 海底土壌・水質調査を実施し、次年度に向けた底質改善策の検討を推進
- 漁業者・大学と連携し、共同研究を開始
- 養殖業を活用したブルーカーボンクレジットの可能性を調査・検討
- 探求型の海洋教育プログラムを展開
- 里海づくりのビジョン整理やフォーラム開催に向けた準備を実施



今年度成果

持続可能な自然と社会の共生モデル構築に向け、関係者間でビジョンを共有し連携体制を強化するとともに、海底土壌や水質調査から状況把握と整理を進めた。

また、海洋教育プログラムシリーズ「小学生のための海洋科学ワークショップ」を実施し、学びの機会を広げた。



次年度以降の目指す方向性

水質・底質の改善に向け定期モニタリングと試験施策を実施し、漁業者向け情報の可視化で改善活動を加速。

教育面では質向上とオリジナル教材制作により次世代の学びも強化することを目指す。



問い合わせ先

東松島BLUELAND協議会事務局

電話:0225-98-7311 メール:info@hm-hope.org